

自由民権記念館だより 自由のともび

Jiyu no Tomoshibi

- 一三大事件建白運動120年記念—土佐自由民権運動群像展／関連企画
- 子ども歴史教室報告
- 高知の文化探検したい!「こうち探検ミュージアム」がでたよ!
- アトリウムの雰囲気を生かして「ちょびっとJAPAN映像祭」

VOL.
61
2007
Oct.



はくせき おうしよく おぼ
♪ 白哲人種はみな生きて 黄色人種はみな溺る
げんいん かれ われ
原因あらば聞かまほし 彼も人なり我も人 ♪

—ノルマントン号沈没の歌 35番—

『ノルマントン号沈没の歌』を再現演奏する高知県民謡協会の皆さん

●リレーエッセイ

ますます膨らむ

高知市立自由民権記念館への期待

「自由民権記念館が建設されるのはこの場所です。」更地を指差しながら語ってくださった外崎光廣先生のあの弾んだお声が、今なお耳から離れない。その喜びと誇りに満ち溢れたお姿の中に、わたくしは市民の皆様のご努力の跡を見た。自由民権記念館には、県詞「自由は土佐の山間より」の息吹が溢れ、近代日本の青春の香気が漂っている。自由民権記念館は、わたくしにとって未来への希望と勇気を与えてくれる心の故郷である。知的意欲を鼓舞してくれる学び舎である。

一八八七(明治二〇)年、租税の軽減・言論集会の自由・外交の是正を求める三大事件建白運動が世を席捲した。運動を牽引したのは高知である。このことを記念し、本年(二〇〇七)秋、自由民権記念館主催の特別展「シンポジウム、三大事件建白運動一二〇年記念—土佐自由民権運動群像展」が開かれる。同じ課題を、現在われわれは背負っている。かつて高知の人びとは、「生きて奴隷の民たらんよりは、死て自由の鬼たらんは、某等の志望」と言い放つて運動に身を投じた。この精神と心意気、その熱き思いを想起したい。運動を担った若い人びとのエネルギーに思いを馳せたい。そこから継承し発展させるものは多いはずである。開館以来、付託された役割と使命を果たすべく尽力されている自由民権記念館と、「友の会」など関係者の活動に敬意を表したい。歴史暗転の危機的状況下、市民の支える新しい形の記念館のさらなる活動と発展に、わたくしの期待はますます膨らむのである。

(早稲田大学文学部教授 安在邦夫)

―三大事件建白運動一二〇年記念―

土佐自由民権運動群像展

【開催期間】二〇〇七年一月二日(金)～二月二日(日)

自由民権百年運動の流れの中、一九八七(昭和六二)年一月二日から三日間、高知で開催された「自由民権百年第三回全国集会」は、全国集会の最後を飾るとともに、「三大事件建白運動」二〇年目を記念する集会としても位置づけられました。その後、二〇年記念となる二〇〇七年に、県下的な規模で自由民権運動家の群像展を開催しようとする企画が浮かび上がり、友の会そして子孫の会とともに準備を進め、このたび特別展の開催が実現しました。



建白書委任状
(当館寄託 片岡家資料)

「三大事件建白運動」とは、簡単に

いえば大きく三つにしろれた課題(案件)を、建白書というかたちで政府に要求し提出していく運動をいいます。そしてこの運動は、各種租税の負担に苦しみ、さらに言論・集会の自由が抑圧された状況下、ノルマントン号事件勃発による不平等条約改正世論の高揚、条約改正問題をめぐる政府内部の分裂等さまざまな要因を背景として、一八八七(明治二〇)年九月から一二月にかけて、

- ①「租税の軽減」
- ②「言論・集会の自由」
- ③「外交失策の挽回」

の三つの案件を掲げた民権期最大規模の反政府闘争に発展しました。

「三大事件建白運動」は、高知県関係の旧自由党勢力が主導し、全国の建白運動を活性化させました。そしてこの運動に関係した民権派の総代は、新聞資料などでわかっているだけでも土佐郡中央部だけで片岡健吉など二二名、香美郡・長岡郡南部で中内庄三郎など

一四名、土佐郡・長岡郡北部で高橋簡吉など八名、高岡郡・吾川郡で一名、安芸郡で檜垣正義など一名、幡多郡で廣瀬正猷など五名、合計七三名にものぼります。このなかには、ほとんど知られていない無名の民権青年たちも数多く含まれていますが、今回の展示会は、そうした民権家たちにスポットを当てていくことも大きな目的のひとつとするものです。

展示資料も多く、憲政記念館の三島通庸文書を中心とする政府側関係資料を含め、約二五〇点の資料を展示する予定です。



憲法発布式之図
(宮内庁書陵部蔵)

〈サブ会場〉

描かれた

自由民権運動の時代



「長寝の耳に痛い木枕」(1889年2月9日付「団々珍聞」)
日本の欧化政策を批判した風刺画(当館蔵)

またサブ会場の研修室では、「描かれた自由民権運動の時代」と題し、青木濱之助秘密出版事件顛末絵巻、幻の「板垣退助詳伝」挿絵など、珍しい風刺画を数多く展示します。次に紹介する関連企画も盛り沢山の内容です。

皆様、ぜひともこの機会にご観覧下さい。

※ 展示図録を作成します。
約一三〇頁。定価一〇〇〇円。



民権紙芝居「ふたたびあがる自由の叫び」



映画「草の乱」



映画「日本の青空」



映画「赤貧洗うがごとき」



民権史跡めぐり、堀見熙助旧邸（佐川町）



群集劇「高知新聞の葬式」(撮影：近藤泰清)

関連企画

○会場装飾 草月流高知県支部／野市町土佐俣保存同好会／自由民権記念館友の会

■オープニング・セレモニー(アトリウム) 11月2日(金)午後1時から

【内容】「ノルマントン号沈没の歌」他(高知県民謡協会)

民権紙芝居「ふたたびあがる自由の叫び」(馬鹿林明美)

「オッペケペー」(林霊山)

■三大記念映画会(民権ホール)

①「草の乱」(明治16年、生活苦や社会的不平等は正ために立ち上がる秩父困民党の蜂起を描く)

①11月 2日(金) 午後2時30分から(入場無料)

②11月17日(土) 午後1時30分から(入場無料)

③12月 1日(土) 午後1時30分から(入場無料)

②「日本の青空」(日本国憲法誕生の真相、新憲法に反映された植木枝盛の東洋大日本国々憲案)

11月23日(金) 午前10時と午後2時からの2回上映(有料上映)

③「赤貧洗うがごとき—田中正造と野に叫ぶ人々—」

(明治中期、鉱毒を流しつづける足尾銅山の操業停止を求める田中正造の戦い)

12月2日(日) 午前10時、午後12時、午後2時、午後4時上映(有料)

■三大事件建白運動120年記念シンポジウム11月24日(土)午後1時から

①アトラクション(アトリウム)

・「ノルマントン号沈没の歌」他(高知県民謡協会)

・民権紙芝居「ふたたびあがる自由の叫び」(馬鹿林明美)

・群集劇「高知新聞の葬式」(高知県詩吟剣舞連盟)

②シンポジウム(民権ホール)

パネラー 安在邦夫(早稲田大学文学学術院教授)

【演題】「自由民権運動における壮士の位相」

福井 淳(宮内庁書陵部主任研究官)

【演題】「三大事件建白の精神」

真辺美佐(宮内庁書陵部研究員)

【演題】「大同団結運動と三大事件建白運動—末広鉄腸を中心に—」

司 会 松岡惺一(高知大学教育学部教授)

幕 間 オッペケペー(林霊山)

■自由民権史跡めぐり「佐川町に学問邑を見る」

【日 程】 11月25日(日) 午前9時自由民権記念館に集合、午後4時頃解散の予定

【見学先】 学問邑之碑 南山社跡 名教館跡 野地騒動記念碑 白倉神社
青山文庫 青源寺 乗台寺 堀見熙助旧邸などの佐川町の自由民権
関係の史跡他

【定 員】 45名(先着順)

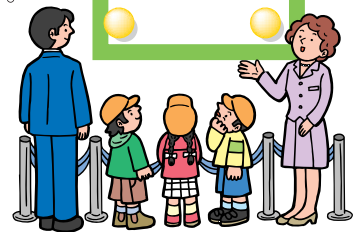
【参加費】 3,000円(バス代、弁当代、資料費など、当日集金します)

【解説者】 竹村 脩(佐川史談会会長)

【申込み】 11月20日までに、葉書または電話で自由民権記念館友の会事務局へ

〒780-8010 高知市棧橋通4-14-3 (TEL)088-831-3336

夏休み子ども歴史教室報告



今年も恒例の「夏休み子ども歴史教室」を七月二四日(火)に開催しました。受付開始を待ちかねるようによつて来る子どもたちの姿を見るのは毎年のことながら楽しいものです。今年の参加者は小学三年生から中学生まで一一〇名(中学生九名、小学生二〇二名)でした。

運営スタッフは、高知市教育研究会社会科部会の先生方、民権歌謡をご指導いただく高知県民謡協会と、模擬演説会に出演いただく劇団笛の会の皆さん、職場体験学習中の高知東高校生と自由民権記

念館の全職員でした。

オリエンテーションの後、「自由民権って何?」のビデオを見て、二〇班に分かれてクイズラリーに出発です。

子どもたちは五つのチェックポイントで、大きな声で「よしや節」を歌ったり、民権すごろくに挑戦したり、常設展示室でクイズに挑戦したりと、大忙し。特に民権座の政談演説会の再現ではあまりの迫力にびつくりした様子でした。

チェックポイントをクリアするとラリーマップに民権家スタンプを押してもらえます。五つ集めて完了です。

今年のチェックポイントでのクイズや課

題を一部紹介します。

「民権歌謡に挑戦!」

よしや節(安岡道太郎編)をよさこい節のメロディーで歌ってみましょう。

①よしや南海 苦熱の地でも 粹な自由の風が吹く(※よさこいよさこい)※以下繰り返し

②よしや田植の あたしが身でも 後にさがるは好きでない ※

③よしやこの身は どうなり果ちよが 国に自由が残るなら ※

④よしやお前が 通さぬ気でも 開き ゆく世に聞はない ※

⑤よしや糸目が 切れよとままよ わたしや自由の奴風 ※

この歌は六八番まであります。歌詞の意味も含めて、もつと詳しく知りたい人は当館までお出下さい。

二、民権クイズに挑戦!

自由民権運動が盛んな時代には、「自由」という言葉が大流行し、いろいろな商品にも自由という名前がついて売られて

いました。その「自由グッズ」に関する問題です。

問1: 次のうち本当にあった商品はどれでしょうか?

①お店で何杯でもおかわりできる「自由カレー」

②いろんな病気にきくといわれた「自由丸」という薬

③自由に乗り降りできる「自由電車」

問2: 「板垣」「自由」の文字が刻まれたおはじきのようなおもちゃは何でできているでしょうか?

①土

②プラスチック

③鉄

最後は全員がチェックポイントをクリアできました。来年も、新たな趣向で皆さんをお待ちしています。

① 問1 問2 正解のメロ



民権クイズ



民権歌謡



民権芝居(政談演説会)



民権すごろく

子ども歴史教室を終えて

谷 智子



自由民権運動は、土佐の誇るべき文化です。数ある夏休み子ども教室の中で、一〇人の子どもたちがこの歴史教室を選び参加してくれたことを、たいへんうれしく思います。

歴史教室は、クイズラリー形式です。「よしや 南海苦熱の地でも…」と歌う民権歌謡、盛り上がる民権すごろく、リアルな演説会の再現、民権家のエピソードなど、興味深く

学べる内容になっています。

学習を終えた子どもたちに、「今まで知らなかったことを知ることができた人は？」と聞きました。全員が手を上げました。新しいことを知る喜び、そしてそれを楽しむことは、子どもの知的好奇心を揺さぶります。学びの価値はそのようなところにあります。

私は、歴史教室で学んだことを、二期からの学校生活に生かしてほしいと話しました。例えば、学級で友だちとけんかをしたとき、叩き合いをしたり、いじめたり、一方的な暴力で向かおうとするのか、あるいは話し合いで互いの立場や権利を大事にしながら、解決していくのか。言論による改善や解決の仕方こそ、自由民権運動の基本的な考え方であり、人と人がつながる社会づくりのものになるものです。

歴史教室で学んだことをきつかけとして、土佐の歴史や文化をいっそう研究してほしいと思います。そして、二期に募集する「社会科自由研究」にぜひ応募してください。心から期待しています。

（高知市社会科教育研究会副会長）
高知市ツ橋小学校校長



谷先生の講評

高知の文化を探検したい！ 「こども探検ミュージアム」がでたよ！

ガリバー倶楽部 川崎敬子

高知の『まちあるき』を始めて四年になります。高知の町は実に魅力的で、気の合う仲間と「こころ」といってねえ」「ほんとほんと」と言いながら『まちあるき』を楽しんでいます。

最近、市民文化プラザ『かるぽーと』周辺の九反田かいわいを歩いています。土佐史談会副会長の谷さんに歴史的な観点から二度ほど案内をしていただきました。そう古い昔ではない幕末から近代史に登場する人々が、この地で様々な交流をして、野心を持ち生活していたことに思いをはせると九反田公園やはりまや橋もまた違って見えてくるから不思議なものです。

こうして『まちあるき』をすることによって町の歴史を知り、この高知の良さ、住んでいる人たちの思いを次の世代のこどもたちに伝えていくことが大切だと思つて活動しています。

そんな市民活動をサポートしてくれる便利な情報誌「こども探検ミュージアム」が、今年の春に創刊され、子どもたちに配布されました。

現在までに三号が発行されています。高知のミュージアムが網羅されており、目的地まで



の地図や開館時間・休館日・入館料、館のイベント情報、展示の見どころなどが分かりやすく載っています。これ一冊を置いておけば、子どもでも大人でも行きたい時に情報がすぐ引っぱり出せるのでとても便利です！。特にこの夏休みにはイベントインフォメーションを見て各ミュージアムに行つた方も多いのではないのでしょうか。

また、横山隆一記念まんが館とアンパンミュージアムが合同企画をしたり、坂本龍馬記念館と、高知県立歴史民俗資料館、中岡慎太郎館の三館合同で企画展をやったりとミュージアム同士が連携して取り組む企画も増えているように思います。そんな展示を見に行く時も、とても便利そうです。

ミュージアムとは、自然系、文化系、歴史系と内容は違えども、貴重な資料がきちんと保管され、県内外にちればついている資料の拠点になり、地域の情報が集まる場所だと思っています。この財産を未来に受け継いでいかなければならぬ使命を持っているのです。より多くの人たちに利用され、子どもたちに親しまれるよう「こども探検ミュージアム」も、どんどん面白い記事にしてほしいなと思います。

県内いろいろな場所に置かれているようなので、まだご覧になっていない方は、ぜひ一度手に取ってみてください。

余談ですが、毎回各ミュージアムが順番で表紙を飾っていくのも面白いと思います。民権の場合は何が出るのかな？。個人的には、植木枝盛か織田信福の顔写真がいいなと思うのだけども……。

アトリウムで霧囲気を生かして 「ちよびつとJAPAN映像祭」

世界各地から高知での地方国際交流推進のために約二〇〇名程来ていますが、その中で、ボランティア活動を行う元気青年会には三〇名ほど加わっています。

元気青年会の事業として、日本のなかの土佐の文化に触れたショックというか、印象というか、体験をまとめて発表しようという試みが「ちよびつとJAPAN映像祭」です。昨年の七月一日に自由民権記念館のアトリウムで開催しました。作品は、三分程度のビデオかスライドにまとめました。映像祭参加作品は「三作中、制作者は八カ国にまたがっています。

ここを選んだ理由は、ガラス張りの天井から空が見え開放感があり、またアカデミー賞の授賞式会場に似た雰囲気が出出できることを発見したからです。ただ難点は、外が暗くなるまで上映効果があがらないという点でした。アトリウムには二つの橋が掛かっていますが、一つに映写機をセットし、もう一つの橋に大きなスクリーンを吊るし、二階は素通しの空間で客席と司会者のステージをしつらえました。

男女二名の司会者は燕尾服とドレスに正装して、大階段からスポットを浴びて登場しました。司会者の前をマスコットのエイゾウ(栄象Ⅱ象のかぶりもの)が先導する、といった趣向です。受賞者にはオスカー像の替わりに金、銀、銅の龍馬像

元気青年会 マイケル・カーン

が贈られました。これは土産物の龍馬像をそれぞれの色でペイントしたのですが、

作品は、三分の制限時間でどれだけ自分たちが発見した驚きを表現し、観客に伝えることができるかを競いあっています。作者の意図がストレートに画面に出て、引き締まった内容になっていたと思います。二〇〇人ほどのお客さまは、作品に酔い、霧囲気に酔い、たいへん好評をいただきました。

また次もここで、という声を多くいただきましたが、会員のなかに県下各地を巡回したいという声もあつて、今年は赤岡の弁天座で開催することになりました。開催日は二月八日(土)です。いっそう磨きのかかった元気青年会の作品を見に来てください。



ちよびつとJAPAN映像祭

図書の紹介

現代に生きる

幸徳秋水

幸徳秋水を顕彰する会

二〇〇七年一月二十四日発行

中村市(現四万十市)における幸徳秋水を顕彰する活動は昭和五年(一九五〇)の墓前祭から始まり、様々な活動を経て、平成七年(一九九五)年に秋水研究会、平成二二年(二〇一〇)に「幸徳秋水を顕彰する会」が発足、同年顕彰する会が提案した「幸徳秋水を顕彰する決議」を中村市議会が満場一致で決議するなどの成果をあげ今日にいたっている。

たとえ生命を失うとも

浜口雄幸

川田稔著 ミネルヴァ書房

二〇〇七年六月二〇日発行

戦間期の政治史・政治思想史を精力的に研究され、特に浜口雄幸研究では第一人者である川田氏がこれまでの研究成果をまとめた。

高知県出身で、政党政治を最も推し進めた近代日本を代表する政治家である浜口の政治外交構想は今日においても大変示唆に富み興味深いものである。

本書は浜口が「歴史上重要な役割をはたした昭和初期を中心に、その政治的生涯を描いた」もので、特

本書は、顕彰する会が「少年の読んでわかる本を作る事を決意」して発行されたものである。秋水の伝記的記述とともに代表作である「廿世紀の怪物帝国主義」「社会主義神髓」を解りやすく解説するなど、秋水の人物像、思想を知る入門書として大人にも読めるものとなっている。



に浜口の本領が最も発揮された民政党総裁、首相時代の「政治外交構想とそれに基づく政治指導を、当時の時代背景とともに明らかにした。そして浜口を通して、昭和二〇年(一九四五)八月二五日に到る現実の歩みとはことなる歴史の可能性を検討し、著者の「一九二〇年代日本論」ともなっている。

著者には他に「激動昭和と浜口雄幸」(吉川弘文館 二〇〇四年)があり、併せて読まれることをお勧めする。

「山崎百次郎書簡」

一八八六(明治一九)年二月一日
津野町教育委員会所蔵

差出人の山崎百次郎は明治一九年(一八八六)二月二十四日熊野灘で沈没した英国汽船ノルマントン号事件で犠牲となった乗客の一人である。

山崎は一八五五(安政二)年高岡郡新土居村(現津野町)に出生。郷里で学校教員を務めた後一八八四(明治一七)年頃上京し、横浜の外国人居留地で巡査となっていた。しかし脚気を患い帰郷することとなり、ノルマントン号に乗船し命をおとすこととなった。

ノルマントン号は二月三日神戸に向けて横浜を出帆、二四日紀州熊野灘で暴風雨に襲われ沈没した。この時ドレイク船長以下西洋人乗組員は全員助かったが、日本人乗客ら二五人は溺死したのである。船長が救助義務を怠ったとして神戸イギリス領事館で海事審判が行われたが、治外法権により無罪となったため、不平等条約の実態を目の当たりにした日本の世論は沸騰した。政府は兵庫県知事名で船長を殺人罪で告訴したが、横浜英国領事裁判所の判決は禁固三ヵ月であった。

遺族には全国から募金が寄せられ、また、百次郎については二月二日に記念碑が高岡郡須崎村八幡宮門前に落成し、山内豊章を斎主に追吊式が執行された。

この事件は不平等条約の実態を国民に実感させるものとなり、条約改正の世論が高まるきっかけとなった。

本資料は、一〇月一日付で郷里に出した

書簡である。内容は次のとおり。

① 本年の病気はいよいよ重病で、むねはら・足等がしびれ充分歩くことができない状態であつたがやつと二・三丁ぐらゐは散歩できるようになつたので安心してほしい。

② 新土居村に悪疫が大いに流行し死者もでたとのこと、実に驚いている。一日も早く委しい安否を知りたい。

③ また、今年は近年にない暴風雨で作物や家屋に被害がでているとのこと。自分の病気の費用もかさみ、日夜心痛している。

④ しかし命を落とすことにくれば幸いです。

⑤ 一先ず帰郷することに決心した。

⑥ もし病気が早くなおれば東京か横浜にとどまるかもしれない。そのときは連絡する。

この書簡の後、山崎百次郎はやはり帰郷することに決し、ノルマントン号に乗船するのである。

なお、本資料は今秋の特別展で展示する予定である。



百次郎書簡

民権家入物録



みずの りょう
水野 龍
(1859~1951)

ブラジル移民の父。高岡郡佐川村(現佐川町)で亀子の二男として出生。慶応四(一八六八)年七月、戊辰戦争の際、松山藩征討にむかう土佐藩の少年鼓笛隊員として従軍。一八七三(明治六)年頃、牧野富太郎らとともに名教館で西洋政治思想を学び、一八七八(明治一二年)七月民権結社「南山社」設立に参画、その社則を起草した。この頃、土佐州会議員を務めていた水野は、同年二月二日乗台寺の演説会で、土佐州会解散決議に反対し、「明治政府ノ圧政ナル確証」と題する演説会を行い、改定律令第二九七条により翌二

八七九(明治一二年)禁獄四〇日(日本で最初の政談演説会弾圧事件)に処せられた。同年、放免後の水野は上京し大阪、中国、九州地方を巡歴しているが、この巡歴により水野の「社会観、政治観の変化」がみられ、次第に民権運動から離反した。また一八八三(明治一六)年二月二日には慶応義塾に入学し、同年、岩佐規矩与と結婚、在官期を経て深川電燈(株)、大日本生命(株)、津軽鉄道(株)等の役員を歴任するなど実業界で活躍した。その後、排日移民法成立に伴う海外移住の局面打開のため、水野は一九〇三(明治三六)年二

月「皇国殖民会社」を設立した。そして一九〇六(明治三九)年、水野はベルギー、チリ、アルゼンチン、そしてブラジルのコーヒー農場を視察し、翌一九〇七(明治四〇)年皇国殖民会社とサンパウロ州農務局は、「向こう三年間に日本人三〇〇〇名を導入する」集団移住契約を締結した。そして一九〇八(明治四二)年四月二十八日、同会募集の第二回移民一五八家族七八一人を乗せた笠戸丸に乗船し、「ブラジル移民の父」としての偉大なる第一歩を記した。そしてその後、水野が興した皇国殖民会社は、資金面での行き詰まりなどの要因により移民事業を「竹村殖民商館」(竹村與右衛門)へ引き継ぎ、その後も竹村に対し多くの助言を行っている。



ポルトガル語で書かれた水野龍の伝記(中村茂生氏提供)

なお、我国のブラジル移民は、戦前期だけで二八九、〇〇〇人、平成二二(一九九〇)年現在の日系人は、永住、帰化、二世、三世を合わせると合計約六三四、三〇〇人に及んでおり、二〇〇八年はブラジル日本人移民二〇〇年となる節目の年をむかえる。

そして二〇〇七年度特別展「土佐の自由民権運動群像」展でも「佐川の自由民権運動」という企画コーナーで、水野龍関係の初出資料をいくつか展示する。

自由帳から JYU-CHO KARA

さわやかな風に色とりどりのコスモスが揺れ、秋を感じさせる季節になりました。自由民権発祥の地にて、土佐の実りを味わい、郷土の歴史に触れてみてはいかがでしょう？皆様の越えを心よりお待ちしております。

今号も県内外から数多くご来館いただきましてお客様の声を紹介します。

●夕顔丸の絵馬を見に来ました。仁井田神社へ行ってみたが、番地よりも略図を書いてもらった方が親切で良いと思います。

●民権座は薄暗くて怖かったです。もう少し明るくして欲しいです。すぐ飽きると思っていたけど、思ったより真剣に見れました。歴史を知って面白いと思いました。

常設展示 Q&A
- 2 -



Q 立志社の設立資金は誰が出したのか教えてください。

A 立志社は明治7年に九反田の旧開成館を山内旧藩主から借り受けて本社を置いています。立志社は士族授産のための興行事業として、その資金をつくるために政府から長岡郡白髪山の払い下げを受けたりしました。白髪山では木を切って売りましたが、あまり盛んにはならずやがて資金難に陥ってしまいます。

また教育機関である立志学舎は、山内旧藩主から2万円の資金を借り受けて、やはり開成館を校舎として同年4月14日に開校しました。

立志社の設立資金は、誰がいくら出資したという明確な資料は見当たりませんが、山内家、創始者、その他の出資によるものと思われます。

行事報告 GYOJI HOKOKU

●夏休み子ども歴史教室

クイズを解いたり、模擬演説会を見たり、民権歌謡を歌いながら、自由民権運動について知識を深めました。

日 時：七月 四日(火) 午前九時三〇分
場 所：自由ギャラリーほか

●青森県むつ市から来ました。歴史を知ることができてよかったです。(H.Cさん)

●自由研究のためやってきました。大変いい参考になりました。良い自由研究ができそうです。解説員さんありがとうございました。(いっちゃんさん)

●今、考えると…自由とは「人間らしく生きぬくこと」と思います。

●この展示を見て、自由を確立するまでに多くの苦難を経たのだということ、改めて思い知らされました。(H.Sさん)
初めて来た。知らなかったことがたくさんわかった。勉強になった。(S.Aさん)

参加者：一二〇名

●映画「日本の青空」上映会

上映日：五月三日(日)

七月六日(金)～八日(日)

会 場：民権ホール

参加者：延べ六八八名

●高知近代史研究会

講 師：小幡尚

(高知大学人文学部准教授)

演 題：高知朝倉の陸軍墓地について
―日露戦争期の動向を中心に―

日 時：七月二八日(土) 午後三時
会 場：研修室

参加者：三二名

●民権史料を読む会

毎週木曜日午後六時三〇分

二階図書室で開催

参加者：延べ二二名

●海南史学研究会

日 時：五月二二日(土) 午後二時
六月九日(土) 午後三時

会 場：階会議室

参加者：延べ一〇名

●自由民権記念館友の会「読書会」

日 時：五月二六日(土) 午後二時半
七月二八日(土) 午後二時

会 場：階会議室

参加者：延べ二五名

●高知市平和の日記念行事

「忘れちゃあせんかえ焼け跡のことを
―長崎原爆・高知空襲展―」

会 期：八月六日(月)～二五日(水)

会 場：自由ギャラリー・研修室他

参加者：三二六四人(被爆者証言、平和コ

ンサート等の関連行事を含む)



平和コンサート

行事予定 GYOJI-YOTEI

●第七回「県詞の日」記念事業

記念講演「秋水と三申」

講 師：鍋島高明

(市場経済研究所代表)

日 時：一〇月二三日(土)

午後三時

会 場：高知城ホール二階

参加費：無料

主 催：自由民権記念館の友

●平成一九年度特別展

―三大事件建白運動二〇年

記念―

「土佐自由民権運動群像」展

同時開催

「描かれた自由民権運動の時

代」展

*特別展の内容(会期・関連企画など)については、二頁と三頁をご覧ください。